



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月12日

上場会社名 エヌアイシ・オートテック株式会社
 コード番号 5742 URL <http://www.nic-inc.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 西川浩司

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 藤井透

TEL 076-425-0738

四半期報告書提出予定日 2020年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	5,056	21.5	118	79.3	117	79.3	68	82.1
2019年3月期第3四半期	6,442	6.5	571	30.2	568	30.8	380	29.3

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 82百万円 (72.1%) 2019年3月期第3四半期 296百万円 (51.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	12.52	
2019年3月期第3四半期	69.89	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	7,804	4,681	60.0
2019年3月期	8,203	4,831	58.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 4,681百万円 2019年3月期 4,831百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		19.00		20.00	39.00
2020年3月期		19.00			
2020年3月期(予想)				20.00	39.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,960	20.1	142	80.8	145	80.6	74	85.0	13.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	5,500,000 株	2019年3月期	5,500,000 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	51,422 株	2019年3月期	51,381 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	5,448,586 株	2019年3月期3Q	5,448,626 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(会計方針の変更)	9
3. その他	10
(1) 生産・受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米中貿易摩擦やこれに起因する製造業の景況感の悪化により、先行きに対する不透明感がありました。

このような状況のもと、当社主力製品である「アルファフレームシステム」は、構造部材としての販売は堅調に推移したものの、低調な設備投資の影響によって、機械・装置関係メーカーからのニーズが低下し、装置製作の大幅な受注拡大は期待できない状況で推移いたしました。しかしながら、当社各部門は来期以降の案件に対しての積極的な提案営業を展開し、新規案件を含めたお客様のからのニーズにお応えすべく生産設備の見直しを図り、生産体制の強化に注力いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は5,056百万円（前年同四半期比78.5%）、営業利益は、118百万円（前年同四半期比20.7%）、経常利益は117百万円（前年同四半期比20.7%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、68百万円（前年同四半期比17.9%）となりました。

ところで、予定より建設を進めておりました愛知事業所（愛知県清須市）が2019年9月下旬に竣工し、翌10月より稼働を開始いたしました。当事業所の生産ラインには最新鋭のICT（情報通信技術）を導入し、省人化による生産性向上やリードタイム短縮といった大幅な改善を図り、新たな基幹工場としての役割を果たしております。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

[アルファフレーム部門]

アルファフレーム部門は、FA（Factory Automation/自動化・省力化）装置関係の設備投資が調整期間となっていることより大口案件は低調な状況でしたが、「カクチャ™」及び「マーキングシステム™」を活用した作図案件数は順調に推移し、これらの案件の売上高は前年度平均値を上回る状況となりました。

この結果、当部門の売上高は3,168百万円（前年同四半期比79.9%）となりました。

なお、来期早々から納入開始予定の新規案件の対応に向け、製造インフラの整備を図っているところであり、今後も更なるインフラ構築に注力する所存であります。

[装置部門]

装置部門は、設備投資需要が低調に推移する状況にはありますが、2020年3月期上半期に比べ当第3四半期会計期間では売上高を伸長させました。

この結果、当部門の売上高は1,100百万円（前年同四半期比66.3%）となりました。

[商事部門]

商事部門は、工業用砥石、油脂類等の消耗品関係及び工具関係等の受注が、前年同四半期と同水準で推移いたしました。機械設備関係についてはやや減少いたしました。

この結果、当部門の売上高は787百万円（前年同四半期比96.2%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産・負債・純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前期末と比べ398百万円減少し、7,804百万円となりました。これは主に、現金及び預金が398百万円、建物(純額)が428百万円、それぞれ増加した一方で、受取手形及び売掛金が460百万円、電子記録債権が796百万円、商品及び製品が100百万円、建設仮勘定を含むその他の有形固定資産(純額)が93百万円、それぞれ減少したことなどによります。

負債は前期末と比べ247百万円減少し、3,123百万円となりました。これは主に、長期借入金が増加した一方で、支払手形及び買掛金が548百万円、電子記録債務が114百万円、未払法人税等が109百万円、それぞれ減少したことなどによります。

純資産は前期末と比べ150百万円減少し、4,681百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上68百万円があった一方で、配当金の支払い212百万円があったことにより、利益剰余金が164百万円減少したことなどによります。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前期末と比べ398百万円増加し、1,016百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期間の209百万円のキャッシュ・インに対し、612百万円のキャッシュ・インとなりました。これは税金等調整前四半期純利益の計上による資金の増加117百万円や売上債権の減少による資金の増加1,258百万円並びにたな卸資産の減少による資金の増加37百万円などの資金の増加があった一方で、仕入債務の減少による資金の減少292百万円や未払消費税等の減少による資金の減少207百万円、並びに法人税等の支払いによる資金の減少240百万円があったことが主な要因であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期間の118百万円のキャッシュ・アウトに対し、462百万円のキャッシュ・アウトとなりました。これは新しい愛知事業所を主とした有形固定資産の取得による支出が460百万円あったことなどが主な要因であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期間の166百万円のキャッシュ・アウトに対し、249百万円のキャッシュ・インとなりました。これは長期借入れによる収入550百万円があった一方で、長期借入金の返済による支出65百万円や配当金の支払いによる支出211百万円があったことなどが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期通期の連結業績予想につきましては、2019年5月10日付の「2019年3月期決算短信(連結)」にて公表いたしました業績予想値を修正いたしました。

詳細につきましては、本日(2020年2月12日)公表いたしました「2020年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	617,831	1,016,734
受取手形及び売掛金	1,470,617	1,009,739
電子記録債権	1,961,295	1,164,643
商品及び製品	360,593	260,130
仕掛品	469,044	448,603
原材料及び貯蔵品	433,041	518,691
その他	42,713	214,964
流動資産合計	5,355,137	4,633,507
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,570,762	3,063,043
減価償却累計額	△1,256,816	△1,320,487
建物及び構築物 (純額)	1,313,946	1,742,555
土地	731,614	733,647
その他	1,007,203	951,258
減価償却累計額	△596,739	△633,997
その他 (純額)	410,464	317,261
有形固定資産合計	2,456,025	2,793,464
無形固定資産		
その他	53,138	46,024
無形固定資産合計	53,138	46,024
投資その他の資産		
その他	338,930	331,946
貸倒引当金	△115	—
投資その他の資産合計	338,814	331,946
固定資産合計	2,847,978	3,171,435
資産合計	8,203,116	7,804,943

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	827,808	278,893
電子記録債務	940,552	825,689
1年内返済予定の長期借入金	76,000	131,000
未払法人税等	109,069	—
賞与引当金	83,267	32,627
製品保証引当金	4,799	3,041
その他	482,231	576,297
流動負債合計	2,523,728	1,847,549
固定負債		
長期借入金	570,000	999,500
退職給付に係る負債	204,624	208,283
その他	73,265	68,293
固定負債合計	847,890	1,276,076
負債合計	3,371,619	3,123,626
純資産の部		
株主資本		
資本金	156,100	156,100
資本剰余金	145,608	145,608
利益剰余金	4,490,730	4,326,120
自己株式	△34,735	△34,772
株主資本合計	4,757,703	4,593,057
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	55,574	71,218
為替換算調整勘定	17,959	16,869
その他の包括利益累計額合計	73,534	88,087
非支配株主持分	259	171
純資産合計	4,831,497	4,681,316
負債純資産合計	8,203,116	7,804,943

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	6,442,365	5,056,657
売上原価	4,937,919	3,979,670
売上総利益	1,504,445	1,076,986
販売費及び一般管理費	933,355	958,536
営業利益	571,090	118,449
営業外収益		
受取配当金	1,229	5,077
仕入割引	4,102	3,450
為替差益	—	3,673
その他	1,120	2,004
営業外収益合計	6,452	14,205
営業外費用		
支払利息	5,209	6,212
固定資産売却損	1,728	—
電子記録債権売却損	92	—
投資有価証券評価損	—	4,945
為替差損	1,014	—
その他	1,255	4,145
営業外費用合計	9,300	15,303
経常利益	568,241	117,351
税金等調整前四半期純利益	568,241	117,351
法人税、住民税及び事業税	168,306	27,960
法人税等調整額	19,185	21,224
法人税等合計	187,491	49,184
四半期純利益	380,750	68,166
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△71	△57
親会社株主に帰属する四半期純利益	380,822	68,223

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	380,750	68,166
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△84,797	15,643
為替換算調整勘定	389	△1,091
その他の包括利益合計	△84,408	14,551
四半期包括利益	296,341	82,718
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	296,413	82,777
非支配株主に係る四半期包括利益	△71	△58

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	568,241	117,351
減価償却費	131,721	135,486
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	△115
賞与引当金の増減額(△は減少)	△39,719	△50,639
製品保証引当金の増減額(△は減少)	1	△1,758
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	6,865	3,658
受取利息及び受取配当金	△1,244	△5,093
支払利息及び手形売却損	5,302	6,212
投資有価証券評価損益(△は益)	—	4,945
売上債権の増減額(△は増加)	205,353	1,258,895
たな卸資産の増減額(△は増加)	136,497	37,448
仕入債務の増減額(△は減少)	△519,036	△292,598
未払消費税等の増減額(△は減少)	80,640	△207,089
為替差損益(△は益)	1,629	△3,974
その他	△23,277	△149,057
小計	552,977	853,670
利息及び配当金の受取額	948	4,827
利息の支払額	△5,302	△6,212
法人税等の支払額	△339,116	△240,285
営業活動によるキャッシュ・フロー	209,506	612,001
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△99,655	△460,172
無形固定資産の取得による支出	△13,350	△3,935
投資有価証券の取得による支出	△3,600	△3,600
投資有価証券の売却による収入	—	5,918
その他	△1,443	△389
投資活動によるキャッシュ・フロー	△118,050	△462,178
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	100,000	—
長期借入れによる収入	—	550,000
長期借入金の返済による支出	△38,000	△65,500
自己株式の取得による支出	△11	△36
配当金の支払額	△228,083	△211,992
その他	—	△23,330
財務活動によるキャッシュ・フロー	△166,095	249,140
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,514	△58
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△76,153	398,903
現金及び現金同等物の期首残高	545,329	617,831
現金及び現金同等物の四半期末残高	469,176	1,016,734

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

国際財務報告基準を適用している子会社は、第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従っており、会計方針の変更による累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に計上しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の流動負債の「その他」が7,096千円及び固定負債の「その他」が8,909千円増加しております。当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。また、利益剰余金の当期首残高は20,337千円減少しております。

3. その他

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	受注高(千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
アルファフレーム部門	2,989,139	84.6	915,826	75.1
装置部門	1,111,205	70.0	404,361	75.6
商事部門	891,815	78.6	360,955	68.3
合計	4,992,161	79.8	1,681,143	73.6

(注) 上記の金額は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

② 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
アルファフレーム部門	3,168,722	79.9
装置部門	1,100,595	66.3
商事部門	787,339	96.2
合計	5,056,657	78.5

(注) 上記の金額は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。